



主催 京都大学人文科学研究所
共同研究A「日本鍼灸医術の形成」研究班

》一般公開セミナー《 参加無料

明智光秀は名医!?だった

— 転換期の医術と戦国武将 —

会期: 2月8日(土) 10:30~16:30 [開場 10:00]

会場: 京都大学 芝蘭会館 山内ホール

京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

事前申込: am20200208@gmail.com 先着 **150**名
(名医光秀実行委員会)

◆総合司会◆ 武田 時昌 京都大学人文科学研究所 教授

【午前の部】 10:30~12:30

① 長野 仁 森ノ宮医療大学大学院 教授

「光秀所伝『針薬方』の薬方と鍼灸」

② 鈴木 達彦 帝京平成大学薬学部 准教授

「中世日本における金瘡医の出現と金瘡書の成立」

【午後の部】 13:30~16:30

③ 山田 貴司 熊本県立美術館 学芸員

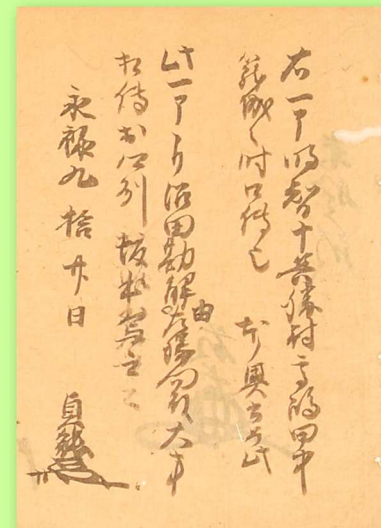
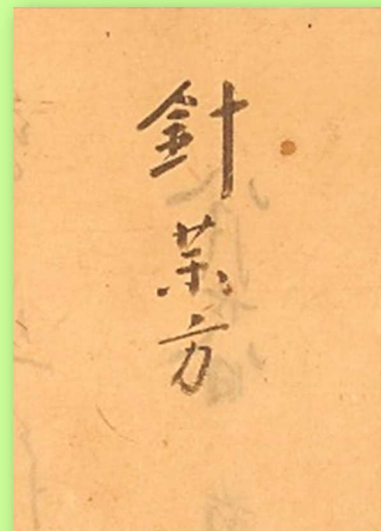
「『針薬方』を伝えた男、米田貞能とは?」

④ 石川 美咲 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 学芸員

「越前一乗谷の医薬史と明智光秀の前半生」

⑤ 早島 大祐 関西学院大学文学部 教授

「明智光秀 – 牢人医師はなぜ謀反人となったか –」



『針薬方』題字(上) 奥書(下)

明智十兵衛尉(光秀)口伝
米田貞能 永禄九年(1566)写

— 個人蔵 熊本県立美術館 寄託 —

【後援】 NHK 京都放送局

熊本県立美術館

北里大学東洋医学総合研究所医史学研究所 「アジアの中の古典籍」研究ユニット 日本医史学会関西支部

森ノ宮医療学園はりきゅうミュージアム 公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会 鍼聖茨木元行顕彰会

開催にあたって

近年、京都大学人文科学研究所は学際的な共同研究を公募しており、2018~20年度の課題として「日本鍼灸医術の形成」が採択されました。班長である私は、江戸時代に百花繚乱となった鍼灸流派の研究を専門としておりますが、各派の流儀は室町~戦国時代の術式を雛形としていることが判明してまいりました。中世の鍼灸の展開様式の相違から、近世の各流派の独自性を培り出せるとなれば、明智光秀が口伝した『針薬方』は格好の研究史料ということになります。実際、戦時の金瘡科と平時の婦産科の処方合わせ持つ『針薬方』には、鍼と灸による興味深い処置が含まれているのです。

『針薬方』への熱視線は、医薬史よりもむしろ中世史や郷土史のほうが強いように思われます。なぜなら、1月8日放映のNHK「歴史秘話ヒストリア」で紹介されたように、奥書にしたためられた「明智十兵衛尉」が現時点での光秀の初出記録であり、本文には「越前朝倉家」伝来の「セキソ散」の配合も記されるからです。今後、『針薬方』は謎多き戦国武将の前半生を垣間見ることのできる稀有な古文書である、と広く一般にも認知されていくに違いありません。そこで、「ヒストリア」のコメント陣が集結する研究会を一般の皆様へ公開し、各分野の最新成果を聴講いただき、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」に描かれぬ可能性もある史実に触れていただく好機となれば…、斯様な思いで当イベントを企画した次第です。大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

令和2年1月吉日 「日本鍼灸医術の形成」研究班長/森ノ宮医療大学大学院教授 長野 仁 謹識



★市バス「京大正門前」停留所から徒歩2分

★京阪電車「出町柳」駅から徒歩15分

■ 注意事項 ■

- * 当セミナーに関するご質問等につきまして、主催の京都大学人文科学研究所および後援の各機関、会場の芝蘭会館は対応いたしかねます。事前申込と同じく、表側の名医光秀実行委員会のメール宛にお願いいたします。
- * 申込時にご入力いただく個人情報につきましては、当セミナー開催以外の目的には使用いたしません。なお、当日の体調不良や所用で欠席される場合の連絡は不要です。
- * 共同研究班の研究会を一般公開するという形式での開催となりますので、専門知識を前提とした内容が含まれている場合もございます。また、討議は研究者間に限らせていただきますので、予めご了承ください。
- * 各発表は50分間で、学会と同じく昼休憩を挟んだ全6時間に及ぶ長丁場となります。ご興味のある演題だけ聴講するなど入退場は自由といたしますが、貴重品・手荷物の管理は自己責任でお願いいたします。
- * 座席には机がございませんので、メモを取られる方はクリップボード・バインダー等を各自ご用意ください。
- * ホール内での飲食は原則禁止となっておりますので、休憩時間に所定の場所をお願いいたします。
- * 委託撮影・記者取材を除く、個人的な録画や録音は一切禁止とさせていただきます。

